

保護者の皆様へ 本シートのご利用にあたって



このシートは、慢性疾患のあるお子様が安心して学校生活を送れるよう、保護者と学校がお子様の病状等を共有し、共通理解するためのツールとして作成しました。

●お子様の病気のことで学校生活に配慮してほしいことがある場合等にご活用ください。

担任の先生とこのシートを使って話し合い、学校と保護者が同じ方針でお子様を育み、成長を見守ることができるより良い関係を築きましょう。

●学校へ病気のことをどこまで伝えるのか、お子様と話し合いましょう

このシートはすべての項目を記載する必要はありません。お子様のプライバシーを尊重し、学校にどこまでお知らせするか、ご兄弟も含めたご家族で十分に話し合いましょう。

先生や友達から「支えられている」「わかってもらえている」という実感がお子様を安心させ、病気と向き合いながら生活していこうという、前向きな気持ちを高めていきます。特に、小学校高学年から中学校の思春期には自分の病気を受容できずに悩む場合が多いことから、孤独感や焦燥感を感じないように配慮をする必要があります。

●主治医に相談しましょう

主治医からの説明や指示事項を正確に学校に伝えることは、学校とお子様の病気について情報共有し、必要な配慮等について話し合う上で重要です。

診断時や復学、進級、進学の時などお子様の状況変化に応じて、主治医に相談し、「学校生活管理指導表」を書いてもらうとよいでしょう。また、主治医から指導されたことや相談した結果をメモするのもご活用ください。

●記載・ご利用にあたって

- 1 お子様の病気が該当する小児慢性特定疾病の疾患群のシートを選び、ダウンロードしてください。
- 2 該当事項の□にレ点でチェックし、() に具体的内容を記載します。
- 3 該当事項がない場合は、□..... に具体的に記載します。
- 4 このシートは、必ず学校へ提出しなければならないものではありません。学校生活で配慮してほしいことがあるときなどにご活用ください。
- 5 また、心配事だけでなく、保護者の思いやお子様が頑張りたいと思っていること、楽しみにしていることなども書き加えたりして、お子様にとって楽しい学校生活となるためのツールとしてもご活用ください。